

## 令和 5 年度事業報告書

### I. 法人の概要

#### □教育方針

## 教育方針

### 使 命

生徒に夢と希望を与え、生きる力を育み  
「自立した、社会に  
貢献できる女性を育てる」

### スローガン

The Creation of Character  
個性創造  
— Change for the Better —

### 重点目標

- ① 基礎学力の向上
- ② 女性としての教養と  
マナーの習得

やればできるは魔法の言葉  
自分サイズの未来を拓く  
チャンス・メーカー 好文学園

学校長 延原 観司

## □学校法人の沿革

昭和 12 年 2 月(1937)	大阪商科女学校として大阪市福島区上福島西通に、実業家・臼谷吉五郎が私財を投入して創設
昭和 12 年 4 月(1937)	創立
昭和 19 年 3 月(1944)	文部省中学校令により財団法人設立許可、大阪福島女子商業学校と改称(修業年限 4 ヲ年)
昭和 22 年 3 月(1947)	中学校令改正により修業年限 5 ヲ年となる
昭和 23 年 4 月(1948)	学制改革により新制高校大阪福島高等学校となる
昭和 25 年 3 月(1950)	大阪工業高等学校(定時制)を併設
昭和 26 年 3 月(1951)	新法令による学校法人大阪福島学園認可
昭和 33 年 1 月(1958)	校舎類焼、現在地へ移転
昭和 35 年 4 月(1960)	大阪福島女子高等学校と改称
昭和 42 年 11 月(1967)	創立 30 周年記念式典を挙行
昭和 48 年 4 月(1973)	普通科併設
昭和 49 年 3 月(1974)	別館 1 号増築竣工
昭和 52 年 4 月(1977)	創立 40 周年記念式典を挙行
昭和 54 年 4 月(1979)	第 2 体育館竣工、テニスコート 2 面完成
昭和 60 年 3 月(1985)	別館 2 号竣工
昭和 62 年 4 月(1987)	商業科情報処理コース、普通科特進コース設置
昭和 62 年 6 月(1987)	別館 3 号竣工
昭和 62 年 6 月(1987)	創立 50 周年記念式典を挙行
平成元年 8 月(1989)	ホームステイ(アメリカ合衆国ユタ州)実施
平成元年 10 月(1989)	全国私学教育研究集会大阪大会商業分科会開催
平成 6 年 4 月(1994)	別館 4 号竣工
平成 7 年 8 月(1995)	弓道部インターハイ女子団体初優勝
平成 8 年 4 月(1996)	PLC アーミディル校姉妹校提携(オーストラリア)
平成 11 年 4 月(1999)	ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科に学科改変
平成 13 年 3 月(2001)	カナダ語学研修旅行実施(以降定期的に実施)
平成 14 年 4 月(2002)	情報ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科(総合コース・英会話コース・デザイン美術コース)に学科改変
平成 16 年 4 月(2004)	普通科に体育コース・保育コース設置
平成 18 年 4 月(2006)	情報ビジネス科募集停止 普通科に情報コミュニケーションコース設置
平成 19 年 4 月(2007)	創立 70 周年 マンガ・アニメーションコース設置
平成 20 年 4 月(2008)	好文学園女子高等学校に改称 特進選抜コース、標準進学コース、総合選択コース、IT ライセンスコース設置
平成 20 年 9 月(2008)	新校舎竣工
平成 21 年 1 月(2009)	耐震化工事実施

平成 21 年 4 月(2009)	校庭の芝生化を実施
平成 21 年 4 月(2009)	変形労働時間制の導入と 36 協定一部締結、及び人事考課制度の実施
平成 22 年 4 月(2011)	36 協定全面締結
平成 24 年 4 月(2012)	財政改革 5 ヶ年計画(好文リバイバルプラン)スタート
平成 26 年 4 月(2014)	看護医療系進学コース設置
平成 28 年 3 月(2016)	学校隣接土地取得
平成 29 年 4 月(2017)	創立 80 周年祝賀会を挙行
平成 30 年 4 月(2018)	体育館、美術棟着工(新校舎)
平成 30 年 7 月(2018)	学校隣接土地建物取得
令和 元年 9 月(2019)	新校舎A3(体育館・美術棟)竣工
令和 2 年 5 月(2020)	テニスコート改修、クラブハウス竣工
令和 3 年 4 月(2021)	コース再編、「3 エリア 9 コース制」へ (総合進学エリア) 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア コース (キャリア進学エリア) 看護医療系進学、幼児教育、ITライセンス コース (メディア芸術エリア) メディアクリエイター、デザイン美術、マンガ・アニメーション コース

#### □設置学科と定員（令和 5 年5月1日現在）

科・コース	入学定員	収容定員	現員
全日制 普通科 9コース(※)	300名	1,200名	822名

※ 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア、看護医療系進学、幼児教育、IT ライセンス、  
メディアクリエイター、デザイン美術イラスト、マンガ・アニメーション

#### □役員の概要（令和5年4月1日現在）

役員の定数 理事:5人以上9人以内、監事:2人以上4人以内 現員は以下の通りである。

理事長	延原 観司
理事	花田 守
理事	濱田 雄久(非常勤)
理事	福井 要 (非常勤)
理事	溝畑 博稔(非常勤)
理事	湯朝 哲朗(非常勤)
監事	一瀬 満子(非常勤)
監事	向 明美(非常勤)

## □評議員の概要（令和5年4月1日現在）

評議員の定数は、12名以上23名であり、現員は16名である。

## □教職員の概要（令和5年4月1日現在）

専任教員	専任職員	非常勤教員等	教職員合計
28名	3名	45名	76名

## Ⅱ. 事業の概要

### □法人運営

#### ① 収支均衡バランス

令和2年度「新校舎棟整備事業」が完了後、令和5年度について令和3、4年度に引続き収支均衡のバランスを考慮し支出を抑制した態勢がとれた。

資金収支については、入学生が276名と前年比11名と減少し、在籍者数は822名と前年比18名増でのスタートとなったが、前年に引続き一時金の抑制及び経費の圧縮に努め、次年度繰越資金920百万円を確保した。

生徒数の一定の確保により、必要なる施設設備を除き、収支均衡で支出を抑制したバランスの取れる態勢を作っていく。

#### ② 施設・設備の充実等

- ・AED2台の入替更新を行った。
- ・別館4号 2, 3, 8階のトイレ改修を行った。(和式→洋式)
- ・レストラン厨房機械の入替を行った。
- ・職員室の複合機の入替を行った。
- ・別館1号 1階事務室、入試広報室のカーテンの取替を行った。
- ・別館3号 7階音楽室(トイレを含む)の改修を行った。
- ・別館3号 7階音楽室にプロジェクターを設置した。
- ・別館3、4号の外壁等の調査、大規模改修を行った。(最終完工は R6. 4)

#### ③ 勤務体系

- ・人事考課制度に基づく給与反映継続(13年目)
  - ・特別賞与制度導入3年目。
  - ・1年単位の変形労働時間制継続実施(年間労働時間1,985.5時間)
  - ・36協定締結継続
- 等により、さらなる労働環境整備とやりがいある職場づくりを進化させた。

## □学校運営

### ① 生徒募集

令和6年度の入学生は232名(留年生1, 転入1名含めず)。専願者は193名で、対目標△87名。受験者数は457名で、対目標△93名という結果となった。

専願者数は想定以上に悪い結果となっており、抜本的な広報が必要である。特に、宣伝広告では、インターネットでの生徒募集活動を予算に組んで始めるべきであると考え。入試条件では、過去と他校のデータを参考に、奨励金制度の見直しを図る必要がある。

問合せ者数は1,956件で、対目標△44名となった。OS参加者数は1,390名で、対目標△210名、対昨年+54名となった。

問合せ者数もOS参加者数も対昨年では増加に転じたが、対目標にはとどかなかった。OSではリピート率が昨年度36.8%に対して、今年度は27.0%と△9.8%と落ち込んだ。

専願受験率は15.1%で、対目標△4.9%となった。この専願率の低さが専願者数減少の主要因となる。

兵庫県における逆風や大阪市・大阪府の終盤での伸び悩みなど課題は山積である。原因を分析し、新たな施策を打たなければならない。

### ② 生徒指導

・諸規定の見直し(新時代フォーラムを3回実施)

「自由闊達にして愉快なる学園の建設」を目指し、生徒の多様な意見を聴取し、職員会議、運営委員会での検討を経て諸規定を決定した。

・遅刻生徒の指導

担任・学年・生徒指導による遅刻指導を実施。全体的に遅刻する生徒が増えている。

特定生徒の遅刻数が目立つ傾向にある。

・マナー、学校生活における指導

校内でのマナーやモラルに関する指導(イエローカード)をおこなった(20件)

問題行動(13件)による特別指導をおこなった。(SNSに関する問題が5件)

・いじめアンケート年2回実施

いじめの早期発見と防止にとどまらず、些細な事も聞き取れるよう留意し生徒サポートに努めた。

6月のアンケートで30名、9月のアンケートで6名の聞き取りをおこなった結果、問題はなかった。

・個別の事情を抱えている生徒への対応

支援を要する生徒の情報共有とケース会議をおこない、学校生活のサポートを実施した。

・感染症対策の実施

保健委員会による手洗い、換気の呼びかけとハンカチ・チェックを実施した。

※新型コロナ感染治療66名 インフルエンザ感染65名 ハンカチ所持率76.5%

### ③ 教務部

- ・授業評価による振り返り、観点別学習状況の評価方法、公開授業の実施により、各教科、各教員で改善・工夫をするように検討を重ねた1年であった。
- ・公開授業では、iPadを利用して生徒に考えさせたり、発表させたりと観点別評価につながる授業展開が行われ、日頃の授業でもiPad活用の授業が定着してきている。
- ・大阪府教育課程協議会には各教科の代表が参加し、観点別学習方法の研究につなげた。
- ・統合型学務支援システムBLENDの導入年度のため、設定や調整に時間がかかったが、出欠状況や成績、帳票などを効率よく確認することができるようになった。
- ・キャリア教育として、HR活動を通じてキャリアパスポートに取り組んだ。グループワークや意見交換を行うことで自己理解を深め、自分の将来の目標やイメージをもつことがしやすくなり、生徒たちが主体的に考える力を身につける機会となっている。

### □施設設備の状況

所在地	施設等	面積	取得価格	帳簿価格	摘要
大阪市西淀川区千舟3-8-22	校地	13,955 m <sup>2</sup>	193,836 千円	193,836 千円	
	校舎6棟等	14,611 m <sup>2</sup>	4,032,182 千円	2,290,298 千円	

### Ⅲ. 財務の概要

#### □令和5年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

#### □経年比較

##### ①貸借対照表

(単位 千円)

項目	令和3年度末	令和4年度末	令和5年度末
固定資産	3,292,552	3,181,528	3,069,822
流動資産	754,792	886,369	1,041,632
【資産合計】	4,047,344	4,067,896	4,111,454
固定負債	58,821	53,974	47,325
流動負債	172,067	171,999	149,042
【負債合計】	230,887	225,972	196,368
基本金	4,711,924	4,710,119	4,735,965
繰越収支差額	△895,467	△868,195	△820,879
【負債・純資産 合計】	4,047,344	4,067,896	4,111,454

##### ②事業活動収支計算書

(単位 千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動収入計	825,840	821,258	832,005
教育活動支出計	805,065	799,548	760,611
(教育活動収支差額)	20,775	21,710	71,394
教育活動外収支差額	14	16	17
(経常収支差額)	20,789	21,726	71,411
特別収支差額	4,791	3,742	761
(基本金繰入前収支差額)	25,580	25,467	73,162
基本金組入額	△26,965	0	△25,846
(当年度収支差額)	△1,385	25,467	47,316
(翌年度繰越収支差額)	△895,467	△868,195	△820,879